

品種解説：「はまゆたか」

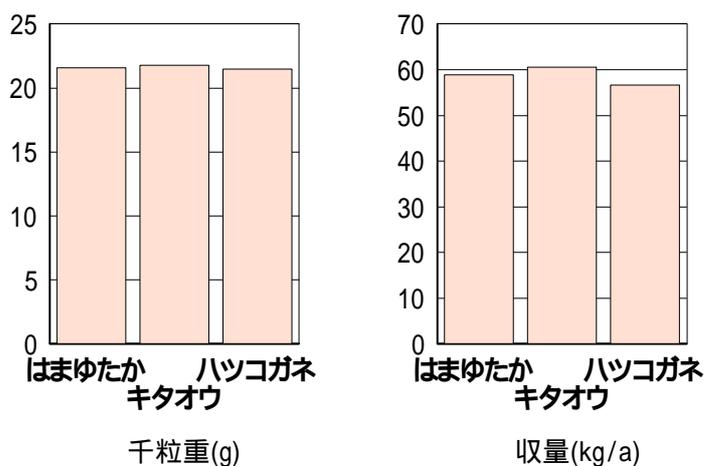
概要：本品種の耐冷性は「キタオウ」より強く“極強”である。名前の意味は、“寒冷地海岸地帯でいつも大豊作を期待すること”を表現する。

1．来歴の概要

早生でいもち病抵抗性、耐冷性に優れた「ふ系 115 号」と、晩生で多収、良食味の「奥羽 321 号」との第一世代を母とし、早生で多収の「キタオウ」を父として、1987 年に青森県農業試験場藤坂支場で交配された。1992 年に「ふ系 168 号」の系統番号が付けられ、1995 年に水稻農林 335 号として登録された。

2．形態的特性

- ・ 稈 長：「キタオウ」よりやや長い。
- ・ 穂 長：「キタオウ」よりやや長い。
- ・ 穂 数：「キタオウ」並みかやや少ない。
- ・ 粒 大：「キタオウ」並みで“中”であり、千粒重は「キタオウ」並みである（下図参照）。



3．生態的特性

- ・ 出穂期・成熟期：「キタオウ」より 1 日程度遅い、早生である。
- ・ 収 量：「キタオウ」並みに高く、特に低温年次では「キタオウ」より優る（上図参照）。
- ・ 耐倒伏性：「キタオウ」並みかやや劣る。
- ・ 葉いもち抵抗性：“極強”
- ・ 穂いもち抵抗性：“極強”
- ・ 耐冷性：「キタオウ」より強い。
- ・ 穂発芽性：「キタオウ」より発芽しやすい。

特 性	はまゆたか	キタオウ	ハツコガネ
耐冷性	極強	中	やや強
耐倒伏性	やや強	やや強	やや強
葉いもち抵抗性	極強	強	中
穂いもち抵抗性	極強	中	中
穂発芽性	やや易	やや難	中

4．品質・食味特性

- ・玄米は光沢があり、腹白、心白の発現は少ない。
- ・品質は「キタオウ」並みの“上の下”である。
- ・食味は「キタオウ」より優り“中の上”である。

5．適地等

- ・寒冷地北部の冷涼地帯、その他寒冷地の山間地及び関東以西の山間冷涼地。

6．栽培上の注意

- ・耐倒伏性は“やや強”とあまり強くないので、品質・食味の低下を防ぐためにも多肥栽培は避け、施肥量は地帯別の施肥基準に準ずる。
- ・耐冷性は“極強”であるが、品種特性を発揮させるためにも、低温時には深水灌漑で幼穂を保護する。
- ・穂発芽性は“やや易”なので、適期刈り取りにより品質の低下を防ぐ。
- ・白葉枯病抵抗性は“弱”であるので、常発地帯での作付けは避ける。

< 参考資料 >

農林水産省農林水産技術会議事務局（平成7年9月）：平成7年農林水産省育成農作物新品種（夏作物・園芸作物）。